

32 歳

## 視点、語句・色のイメージ

鳥取県倉吉市立西郷小学校 松本勝男

最近、つくづく思う。

「国語の授業に対する女性の考えと男性の考えが違う」と。

女性は感動を重視する。涙を重視する傾向がある。

一方、男性は、理屈を優先する。

「国語の授業が嫌いになった。」

ある知り合いの医者が当時のことを思い出して語ってくれたことがある。

「気持ちのオンパレードでおもしろくも何ともなかった。」

考えてみれば私も、国語が嫌いであった。

論理的ではないからであった。

答えが、明確でないために知的好奇心がわかないし、考えようという意欲が生じなかった。

分析批評は、文章を読み取っていくための道具を提供してくれる。

料理をつくるときの包丁の役目を果たす。

実に、論理的である。

これが、討論を生み、知的好奇心を喚起することにつながっているのである。

### 1 大造じいさんとガン

中心人物はだれか

本時の指導

・ねらい 中心人物は誰かを考え、作中の表現による根拠をさがす。

学習活動

- 中心人物を発表する
- 意見のある者は自由に立って発表をする。
- 意見の違いについて整理する。

指導の手立て

- 中心人物が誰か、発表させる。
- 発問「中心人物はこれだと思ふ理由を教えてください。」
- 本時のまとめをさせる。

これが向山氏の学習の流れである。

討論で学習が展開されている。

子どもたちだけで結論を出すように鍛えられたのだろう。

学習後に自分の考えを書いている。

◇今まで、話し合った所で、中心人物はだれか。

大造じいさん

理由

中心人物（主人公）は主題と関係する。

主題がちがうから、中心人物もちがう。

中心人物がちがうから、主題がちがうといえよう。

ぼくは、主題を「強く心をうたれた大造じいさん」とし、中心人物を主題の最後に書いた大造じいさんにした。

主題もっとくわしく説明すると、話を全部読んで、3の段落の36ページの最後から、3行目からは、心の中で思っていました、36ページの3行目からは、心の中で思っていることとちがう。

そのことを、はっきり書きだされているのは、40ページの6行目7行目8行目の、大造じいさんの言葉でわかる。(略)

今までは、大造じいさんの気持ちの変化のことを書いていたが、残雪に作者が視点を移したのが一カ所だけある。(略)

というように視点を、道具（武器）にしながら。文中に根拠を求め、論を展開している。

論理的で明快である。

◇中心人物のとらえ方のちがいと人数

残雪	21名	大造じいさん	19名
どちらでもいえる	1名	両方	1名

予備調査の結果である。

中心人物に対するとらえかたが拮抗している。

恐らく、この授業でも白熱した討論が展開されただろう。

## 2 もちもちの木

語句・色のイメージを語る。

◇指導授業の概要 2時間扱い

① 前文通読と討論 課題 豆太にしか見えなかった木はどれですか。

1時間 7月19日

② 調査作文 ア 豆太にしか見えなかった木はどのページか。  
イ 28、29ページの絵と30、31ページの絵のちがいはどうして生まれたか。  
ウ イメージを表す語句、色を書け。  
エ 批評しなさい。 1時間 10月29日

視点の学習とイメージを表す色・語句の学習が新しい教材「もちもちの木」の学習でどの程度転移するかを調査したものである。つまり、分析的にどこまで読み取れるかを調査したものである。

向山氏は述べる。

◇視点という一つの分析的観点でも作品を分析していく重要な手掛かりになるということを前述の数値は示している。

◇実感として次のことが言える。

子どもは一つの観点を手掛かりに、おどろくほどそれを使いこなすようになる。

色のイメージや語句のイメージを次のように書いている箇所がある。参考になる。

◇色

黒	暗やみ	ぶきみ	苦しみ
白	光	ゆき	明るさ
茶	かげ		
黄	明るさ	あたたかさ	
青	夜	静けさ	
紫	こわさ		
うす桃	元気	健康	楽しい
おうど	あたたかさ	おちつき	
灰色	うすの色	歴史	
うす緑	青ざめたイメージ	必死さ	

## ◇語句

小便	臆病
豆太	豆太の豆は小さくてかよわいものを表してしいる。
灯	勇気
セッチン	おそろしさ
夕日	楽しさ
月	美しさ 静けさ
星	美しさ 静けさ
雪	つめたさ
モチモチの木	昼 友達
やみ	恐怖
村（ふもとの）	遠い こわい
夜	お化け

これらのことを知っていれば、文学を分析する上で有効に働く。自力で分析できる力が身につくのである。

このことにより、最終的には、その作品の主題に到達するのである。

## 3 母ぐま子ぐま

主題が何であるか討論してください。

ねらい 主題は何かを、表現によりつつ考え追求させる。

展開

学習活動

指導の手立て

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1. 主題が何であるかを発表し、<br>討論する。 | ・主題が何であるかを討論してください。<br>・発表していない人は意見を言ってください。 |
| 2. 主題を視座ごとに整理する。          | ・主題を視座ごとに整理する。                               |

大胆に討論の授業を組み、子供に授業をゆだねている。主題だけで1時間も授業できることが信じられない。